

省察的実践家 3.0

日時 2018年6月17日(日)

会場 東京医科歯科大学 湯島キャンパス M&D タワー (東京都文京区)

開催スケジュール

8:30 受付(発表者・参加者)

9:00 開会の挨拶

9:10 口頭発表①

意識化されない教師の実践知を意識するために
—省察的実践における現象学的研究の意義—

香月裕介(神戸学院大学)

9:55 口頭発表②

「言語学習」観を再考する
—「関わり」という概念の提唱—

田嶋美砂子(茨城大学)

10:35 休憩

10:45 ポスターセッション/私の今を培ってきたストーリーセッション

ポスター発表①

まなざしの観点から考える複数言語環境で成長する子どもとの「ことば」育て
—海外移住したわたしと息子の日常から—

中野千野(ノースショア日本語学校)

ポスター発表②

日本語教員養成・研修の歴史的変遷

藤原恵美・加藤真実子(早稲田大学日本語教育研究センター)・**小林北洋**(山野美容芸術短期大学)・**高木萌**(早稲田大学日本語教育研究センター)・**松本弘美**(早稲田大学大学院日本語教育研究科)

ポスター発表③

南米日系社会の省察的実践家

松田真希子(金沢大学)

私の今を培ってきたストーリーセッション

【セッション①10:45-11:15、セッション②11:15-11:45、セッション③11:45-12:15】

このセッションでは、多様な言語文化教育実践をされている方々に、現在の実践に至るまでの過程をお話しいただきます。参加者は興味のある発題者を選び、発題者を囲んで話を聴いたりやり取りをしたりします。

発題者

小出和代（上智大学大学院）

小林北洋（山野美容芸術短期大学）

松井孝浩（横浜市国際交流協会）

山座寸知（ことばのまど、カンマレーベル主宰）【三村修一郎（東京国際学園国際教育企画室室長）】

山下誠（高等学校韓国朝鮮語教育ネットワーク）

12:15

ランチ交流会

みなさんのお話を「あと一品おかず」にして聞くだけでもよし、ゆるっと食べながら話すもよし、のランチ交流会を行います。「お弁当」はこちらでご用意します。「お弁当」は参加費に含まれています（当日、急遽不参加となった場合も、「お弁当」代のみ返金は致しかねます。あらかじめご了承ください）。なお、「お弁当」の内容につきましてご心配がある場合は実行委員にお問い合わせください。

13:45

口頭発表③

振り返りのサイクルにおける「叙述」の重要性

渡辺敦子（文教大学）・**岩田祐子**（国際基督教大学）

14:30

口頭発表④

日本語教員養成履修生の省察の視点変容

—ティーチング・ポートフォリオを用いた省察活動から—

鷹野恵（筑紫女学園大学）

15:10

休憩

15:30

パネルセッション 省察的实践家 3.0

話題提供者

關奈央子（東京医科歯科大学）・**関口遵**（日本体育大学）・**保田江美**（国際医療福祉大学）

モデレーター

館岡洋子（早稲田大学）

18:00

茶話会（参加任意）

こちらも研究集会恒例となったふりかえりのセッションです。ご参加は任意です。まだ話足りない！、と思っている方、持ってきてくださったお菓子を囲みながら、省察的实践についてふりかえりませんか？ ネットワークの場としてもぜひご活用ください。なお、お茶代は実費となります。